

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2008-166364(P2008-166364A)

【公開日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2006-351939(P2006-351939)

【国際特許分類】

H 01 G 9/028 (2006.01)

H 01 G 9/04 (2006.01)

【F I】

H 01 G 9/02 3 3 1 G

H 01 G 9/05 G

H 01 G 9/02 3 3 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陽極体周面に、誘電体皮膜、固体電解質層、陰極引出層を順次形成した固体電解コンデンサにおいて、

前記固体電解質層は、同一のモノマーを電解重合することにより形成される少なくとも第一、第二の電解重合層を具え、

第一電解重合層は第二電解重合層よりも誘電体皮膜側に形成され、

前記第一電解重合層は第一のドーパントを含有し、

前記第二電解重合層は第二のドーパントを含有していることを特徴とする固体電解コンデンサ。

【請求項2】

前記第一電解重合層は、第二のドーパントを含有しないことを特徴とする請求項1に記載の固体電解コンデンサ。

【請求項3】

前記第二電解重合層は、第一のドーパントを含有しないことを特徴とする請求項1に記載の固体電解コンデンサ。

【請求項4】

前記第一電解重合層は第二のドーパントを含有せず、前記第二電解重合層は第一のドーパントを含有しないことを特徴とする請求項1に記載の固体電解コンデンサ。

【請求項5】

前記第一電解重合層に前記第二のドーパントを含む請求項1に記載の固体電解コンデンサに比べて漏れ電流が小さいことを特徴とする請求項2又は4に記載の固体電解コンデンサ。

【請求項6】

前記第二電解重合層に前記第一のドーパントを含む請求項1に記載の固体電解コンデンサに比べて等価直流抵抗(E S R)が低いことを特徴とする請求項3又は4に記載の固体電解コンデンサ。

【請求項 7】

前記第一のドーパントは、アルキル芳香族スルホン酸イオン、アダマンタンスルホン酸イオン又はアダマンタンカルボン酸イオンである請求項1乃至6のいずれか1つに記載の固体電解コンデンサ。

【請求項 8】

前記第二のドーパントは、芳香族ポリスルホン酸イオン、カルボニル芳香族スルホン酸イオン又は芳香族キノンスルホン酸イオンである請求項1乃至7のいずれか1つに記載の固体電解コンデンサ。